

地域学校協働連携NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



館岩音頭 ～南会津町立館岩小学校～

2月8日(木)、館岩小学校の3・4年生の総合的な学習の時間に行われた「館岩音頭」継承の学習を取材しました。

以前、南会津町館岩地区では、館岩音頭という曲に合わせて盆踊りが行われていたということでしたが、地区で盆踊りが行われなくなり、館岩音頭が踊られるのは、小学校の運動会の演目のみになったそうです。そして、運動会での館岩音頭も、コロナウイルス感染症の流行をきっかけに中止となっていたそうです。

今回は数年ぶりに復活した館岩音頭の学習を取材させていただきました。



昔は、盆踊りとなると各地区で一晩中踊っていましたが、今は声をかけなければ、盆踊りがあることさえ忘れられてしまいました。
今年は学校から声をかけてもらいうれしいです。子供たちと触れ合う機会を楽しませてもらっています。

<講師 小勝周一さん>



小さい頃にお父さんに教えてもらったことがあります。

覚えている歌詞は、大きな声で歌うことができました。

(館岩小学校児童)



他の地域から嫁いできたので、初めて盆踊りを見ました。

普段は家にいるので、何か学校の役に立てないかと思って参加しました。(保護者)



子供たちは、前回、外部の方が来て緊張していたようですが、今回は慣れてきて本来の姿が見られました。他者と会った時に、自分を表現できるようになるためのよい学びになっていると思います。(3・4年生担任)



地区で行われていないことや数年間学習が途絶えていたことから、多くの児童が館岩音頭を知らないようでした。今後は、3・4年生が覚えた太鼓や歌、踊りを他の学年にも教え、次年度の運動会で児童や保護者、地域の人みんなで踊りたいとのことでした。

また、練習には子供たちだけではなく、保護者の方も参加されていました。役員会で情報共有したところ、「自分たちも分からないけれど、子供と一緒に学びたい」と自主的に参加されたそうです。

地域の伝統文化を継承する人材育成の一端を学校も担っているということを実感しました。